

# 海のもしものは118番



## 名護海上保安署通信

第4号 平成25年7月31日発行

〒905-0011 名護市字宮里452-3

☎ 0980-53-0118

※ 名護海上保安署では、この通信を定期的に作成して海上保安協力員や海上安全指導員の皆様に配布し、情報提供をすることとなりました。どうぞよろしくお願いいたします。

### 伊江島沖で不発弾を爆破処理

今年の2月、伊江島南の海底で発見された不発弾は、7月2日に海上自衛隊沖縄基地隊（うるま市勝連在）の水中処分隊により爆破処理されました。当日は、海上自衛隊の母艦や名護海上保安署の監視取締艇はいむる、伊江漁協の監視船2隻が周辺海域を警戒する中、午後零時ちょうどに爆破され、無事に処理されました。この不発弾は、製造国不明の150キロ爆弾1発で、大きな水しぶきは上がりませんでした。爆破地点の海面が一瞬で白く濁り、海岸に設置した対策本部にも爆破音と衝撃が伝わってきました。

戦後68年も経ちましたが、毎年、海からだけでも、十件前後の不発弾が発見されています。また、工事現場などで発見された不発弾が、住民を避難させて爆破処理されていることは皆様ご承知のとおりです。沖縄の各地にこのような不発弾が多く埋まっていることを考えると、未だ戦争の影響が続いている状況に複雑な想いに駆られます。

※ 海で不発弾や不発弾らしきものを発見した場合は、その場所をしっかりと記録して、直ぐに名護海上保安署や市町村に連絡してください。



### 小学校で海の安全教室を開催

夏休み前の7月上旬、第十一管区海上保安本部では、県内小学生を対象に海の安全教室を開催して、水難事故防止の啓蒙活動に努めました。

この海の安全教室は、第十一管区海上保安本部が沖縄県教育委員会を通じて各小学校に呼び掛け、希望する小学校からの依頼を受けて実施しているもので、座学では「海で守る5つの約束」、プールでの実技では、ペットボトルにロープを付けて溺れた人に投げる救助方法、岸壁などから落ちた場合に服を着たまま泳ぐ「着衣泳」などを、海上保安官が子供たちに体験させるというものです。

今年、名護海上保安署では、上本部小学校、瀬底小学校、奥間小学校、東江小学校で実施し、海洋博覧会記念公園花火大会のアトラクション会場でも実施しました。この安全教室が子供たちの水難事故防止の一助になれば幸いです。



### OWSAとの合同パトロールを実施

7月14日、名護海上保安署はOWSAと合同で海水浴場やマリレジャー業者などを訪問し、海難防止などの啓蒙活動を実施しました。

OWSAとは、沖縄県ウォータークラフト安全協会の略称で、毎年、マリレジャーが盛んになる夏季に、同安全協会と海上保安庁が合同で県内各地のマリレジャー業者などを訪問し、海難防止の啓蒙活動を実施しているものです。

毎年、数件の水上バイクの絡策（ウォータージェット吸込口へのロープの巻き込み）やプレジャーボートの機関故障などによる海難事故が発生している現状であり、出港前の点検や気象・海象などの情報収集にしっかりと努めて頂きたいと思えます。



### 排出油等防除連絡協会が訓練

7月30日、本部港において、沖縄本島北西部地区排出油等防除協議会が海上防災訓練を実施しました。

この訓練は、毎年、名護市安和の琉球セメント棧橋、本部港、運天港の3つの港を輪番で主会場とし、協議会事務局の名護海上保安署が立案、会員である海運会社や関係市町村の協力を得て実施しているもので、今年は、伊江村の「フェリーぐすく」が入港中に岸壁に衝突して火災が発生、けが人が出て、油が流出したという想定で、伊江村船舶課、本部今帰仁消防、本部警察、名護・国頭各漁協などの協力を得て実施しました。

また、訓練に先立ち、全国組織の石油連盟が、うるま市与那城平安座に設置している油濁防除資機材備蓄

基地「6号沖縄基地」の協力により、同基地の装置を使った油防除資機材取扱い実地訓練も実施しました。



### 携帯解析警察庁技官に感謝状

名護海上保安署は、本年5月に沖縄県恩納村沖海上で発見された身元不明女性変死体の遺留携帯電話の鑑定囑託で、見事にこれを解析して身元の特定に繋げ、事件の進展に貢献したとして、警察庁技官福永一己氏に感謝状を授与しました。

変死体は、5月18日に発見、死後数日が経って腐敗が進行し、身元特定に繋がる所持品も無い状況から、名護海上保安署では、九州管区警察局沖縄県情報通信部情報技術解析課に携帯電話のデータ抽出と解析を鑑定囑託することになり、数日後、電話番号らしき数字や静止画と動画が抽出できたとの連絡を受けました。

そして、その電話番号らしきものを頼りに捜査を進めた結果、ある行方不明の女性が浮上、身元判明に繋がり、事件が一気に進展したものです。

授与後の懇談では、陪席した仲里情報技術解析課長から、「長時間海中に没し、さらに内臓カードが入っていないという悪条件の中での解析は困難を極め、データが抽出された際には、課内で拍手が起った」とのことで、「この感謝状の授与は本人ばかりでなく他の技官の励みになるもので、警察部内においても、全国に誇れる事案として紹介する。」との言もあり、海上保安庁と警察との協力関係強化の観点からも極めて意義のある事例となりました。



### 海上保安大学校生徒募集

海上保安庁では、次のとおり海上保安大学校の生徒を募集しています。詳しくは、名護海上保安署まで問合せください。

受付期間：（ネット）平成25年8月29日～9月9日  
（申込書）平成25年8月29日～9月6日

編集後記：

本格的な沖縄の夏が到来し、ますます盛んになるマリレジャーの季節到来ですが、県内各地の海で数件の水難事故や小型船の事故が発生しています。皆さん海に行く前の気象海象の把握、事故に備えた救命対策、連絡手段の確保に努めましょう。そして、

「海のもしものは118番」です。

（文責：名護海上保安署次長）